

# 岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール 忠節校・安田弘之

## 問題【英語】

問 次の英文を読み、問1、問2に答えましょう。

“The biggest happiness is to sit alone in front of the lamp, to open and read a book, and to talk with the writer.”

問1：上記の文は、14世紀の隨筆家、吉田兼好の作品から抜粋したものをお読みください。3大隨筆の一つといわれる彼の作品名を答えてください。

問2：上記の文章を日本語訳してください。

## 豆知識 雑学コラム

## 大きく変化した読書

最近は読書にもいろいろなスタイルがあります。本であれ漫画であれ、書物から、自分にはない世界を、作者を通じて共有できます。これは吉田兼好が言うように古今変わりません。

最近は、昔にはなかった楽しみがあります。一つは、デジタルの書物が出てきたことです。今、パソコンや携帯があれば、いつでもどこでも購入して読むことができます。また、世界中の本を購入して読むこともできます。英語学習者の私としては、デジタル版は、分からぬ単語があっても、クリックするだけで意味が出てくるのが便利です。辞典の設定もできるので英和辞典や英英辞典、シソーラス（類義語辞典）など、必要に応じて設定して使えるのも語学力向上に役立ちます。



もう一つは、インターネットやSNSのおかげで、コミュニケーションを取りながら、書物を共有できることです。しかも、読者だけでなく、作者本人ともコミュニケーションを取りながら読むことができるのです。平成時代以前では考えられないことだと思います。昨年、英国在住でルーマニアの作家の本を購入し、その本が良かったので作者本人にメッセージを送ったところ、返信（画像）がきました。作者も日本人が購入したのに驚いていたようですが。その作者とは何回か意見を交換し、SNS上の読書会では、ヨーロッパやアフリカの人と意見を交換しました。読書が本当に大きく変わったと思いました。

## 【解答】

問1：純然草書  
問2：一書大幸也、明月の如き一ソウル

。よこべ

この文は、吉田兼好の「随筆」の一節で、吉田兼好は、自分の本を購入されたことに喜んでいます。吉田兼好は、14世紀の日本の文豪で、「三才編」などの著書で知られています。